

人間学塾・中之島

塾 是

- 森 信三先生を始めとした先哲に学ぶ。
- 日常生活の細事を軽んぜず、徳行に努める。
- 心願以て万事の源と為し、世界の手本となる人間塾を創る。

第六期 塾生募集 案内

三大綱領

◆ 念々志学

— 生涯学習を

目指しましょう

◆ 念々心願

— 一歩貢献を

念じましょう

◆ 念々感謝

— 師恩友益に

目覚めましょう

「三つの誓い」

一つでいい 一つがいい 小さな一つを やりつづけよう [行持]
 一つでいい 一つがいい 小さな一つの 願いをもとう [心願]
 一つでいい 一つがいい 小さな一つの 実を結ぼう [結実]

当塾の前身は「天分塾」にあり、森信三先生の高弟、寺田一清先生のご指導のもと新たに開塾した。源流は江戸期大坂にて幾多の人材を輩出した「適塾」「懷徳堂」「心学講舎」などにもある

ああ 中之島

作詩 寺田一清
作曲 小川けい子

(一) 名も高き 水の都の
なにわの地 ふかき伝統
うけつぎし 人間学塾
この地この時 ああ中之島

(二) 願いこめ この日の本^{もと}
再生を 心に秘めて
努めんや 心願達成
共に手をとり ああ中之島

(三) 天仰ぎ 地にひれ伏して
願わくば 師恩の光り
しみじみと 念々感謝
この学び舎に ああ中之島
この学び舎に ああ中之島

開講日・会場

- ◆ 毎月第2土曜 会場の都合により
午後1時より午後5時
変更があります。

- ◆ 研修会場
大阪大学中之島センター
10階 佐治敬三ホール

- ◆ 年間2回の宿泊研修
H29年11月(和歌山県・高野山宿坊)
H30年 3月(京都府・仁和寺「御室会館」)

- ◆ 郊外学習「先哲 ふる里訪問」
H30年4月 ~ 5月予定

- ◆ 塾生講話
塾生による実践講話

- ◆ 大阪大学中之島センター (TEL.06-6444-2100)
大阪市北区中之島4-3-53



電車によるアクセス・京阪中之島線 中之島駅より 徒歩約5分
 ・JR東西線 新福島駅より 徒歩約9分
 ・地下鉄四つ橋線 肥後橋駅より 徒歩約10分

受講費

年間 78,000円 (分割払いも可。相談応)

- ◆ 但し、学塾・中之島/旧天分塾卒塾者は、年間 68,000円

◇ 宿泊研修 11月・3月 各一泊二日 (各費用 15,000円程度)

◇ 必要に応じて懇親会開催 (費用 2,000円程度)

年間開講日程

開講日	講師	テーマ
9月16日(土) (※ 第三土曜)	入 塾 式	
10月14日(土)	大畑誠也	「21世紀を生き抜く 『悪戦苦闘・能力』
11月18日(土) 宿泊研修 (※ 第三土・日曜)	大石順教尼没50年記念行事(高野山大学) 基調講演 高野山無量光院 土生川正道大僧正	
11月19日(日)	高橋 恵	「笑う人には 福来たる」
12月16日(土) (※ 第三土曜) 平成30年	上甲 晃	「世の救いとなる 生き方」
1月13日(土)	木南一志	「続けること やめること」
2月10日(土)	横田南嶺	「禅の教えに学ぶ」
3月10日(土) 宿泊研修	岩田洋治	「個人と組織の エンパワメント」
	鈴木民二	「天分開花への王道」
	井上象英	「自然と共に生きる人間学」 『式年遷宮からみる日本の宗教』
4月14日(土)	山下智茂	「人生耐えて勝つ」
5月12日(土)	中江 彰	「中江藤樹の 『鑑草』に学ぶ」
6月9日(土)	矢作直樹	「我が国のかたち」
7月14日(土)	浅野仁美	「避難所が教えて くれたこと」
8月11日(土)	卒 塾 式	

《事務局》 〒648-0094
和歌山県橋本市三石台4-1-15
「人間学塾・中之島」 宮本 内
TEL 0736-38-3669・FAX 0736-38-3680
E・ﾌﾟﾚｽ mm3724@skyblue.ocn.ne.jp
携帯 090-1671-4725

第六期 講師紹介



おおはたせいや
大畑 誠也

1947年熊本県に生まれる。1972年熊本大学文学部法学科卒業後高校の教員となる。県教育委員会を経て6校の校長を歴任。現在、九州ルーテル学院客員教授を務める。講演ではコミュニケーションの大切さを示し、21世紀を生き抜く「悪戦苦闘能力」として、「挨拶、体力、感性、集中、思考」を掲げ成果を上げた。



おおいしじゅんきょうに
大石 順教尼

1888年大阪の道頓堀に生まれる。13歳の時、芸妓への道を目指し、中川万次郎の養女となり、17歳の時「堀江六人切り事件」の巻き添えで、両腕を切断されるが、一命を取り留める。ある時、鳥かごの中のカナリヤを見て心を打たれます。親鳥が雛に口でえさを運んでいる姿…鳥は手はなくても、口で筆をくわえて文字を書くことを習得したのです。



たかはし めぐみ
高橋 恵

短大卒業後、広告代理店に勤務。同社を結婚退職後、子育てをしながら営業に従事しトップセールスを記録40才で離婚。42歳で長女と共に自宅で(株)サニーサイドアップを創業。2013年一社「日本お節介協会」を設立愛のあるお節介の必要性を説き、全国各地の学校・企業で講演。世界中が「やさしいお節介」であふれ、社会が笑顔一杯になることを心から願っている。



じょうこう あきら
上甲 晃

1941年大阪市に生まれる。1965年松下電器産業(株)に入社。1981年財団法人松下政経塾に出身。理事・塾頭を歴任。1996退社し志ネットワーク社を設立。1997年『青年塾』を創設。現在第21期生を迎え、累計約1700名を超える。主な著書『志のみ持参』『人間として一流をめざす』『志を教える』『志を継ぐ』など著書多数。



きみなみかずし
木南一志

1959年1月兵庫県生まれ。株式会社新宮運送代表取締役。『S-DEC運動』という、4000日間の無事故無違反を推進する循環型の運動を実施、「事故が起きても仕方がない」という考えを壊し、社員の自発的な努力の必要性を促している。本物と呼ばれるような企業を目指して、柔軟なスタンスで事業を推し進めている。



よこたなんりょう
横田南嶺

1964年和歌山県新宮市生まれ。1983年筑波大学に入学。東京都文京区白山道場龍雲院 小池叟老師について出家得度。1987年筑波大学卒業、京都建仁寺僧堂、円覚寺僧堂にて修行。円覚寺足立大進老師に嗣法。2010年臨済宗円覚寺派管長に就任。『祈りの延命十句観音経』『二度とない人生だから今日一日は笑顔でいよう』など著書多数。



いわたようじ
岩田洋治

1993年、父親の創立した行動科学研究所に加わり、以来、現在79歳の父親と共に、個人と組織のエンパワメントに従事している。エンパワメントとは一人ひとりが内側に持っている力が引き出されていくこと。リーダーシップ、人間関係、チームビルディングなどの現場の課題を、個人の意識とエネルギーの視座から読み解く独特のアプローチを専門とする。



すずきたみじ
鈴木民二

1935年宮城県生まれ。天理大学在学中に上京し、人生のテーマについて作家・武者小路実篤氏の指導を仰ぐ。1990年ヒューマンリソース研究所設立。人間の内側に宿る資源の研究活動を開始。天分開花大学学長。人間図書館館長。著書に『自分育てる』『人間の内側』など著書多数。



いのうえしょうえい
井上象英

東京都出身。暦法研究家、観象学講究総本部代表。17才で父(故)観象学人(易道 観象派宗家)の下で暦法と神道学を修める。後に易学・気学・姓名学・墓相学を修める。東洋の「易経」と「気学」そして「神道学」を融合させた「観象学」を創始。暦書の執筆・出版。鑑定士派遣を主業務とする株式会社象英企画代表取締役社長。



やましただもしげ
山下智茂

1945年石川県生まれ。駒澤大学卒業後、星陵高等学校野球部監督に就任。高校野球に38年間携わる。「人間形成の野球学」と銘打ち野球の一つの学問と捉え「心の教育」を主体とした指導方針で、日本一のマナーで全国制覇を目標に精進。現在、甲子園塾長として、若手の高校野球指導者を育成など、高校野球の発展を目的とした活動や、海外でも発展途上国の野球指導を行っている。

※ 講師は、都合により講師の推薦する方に
変更する場合があります。



なかえ あきら
中江 彰

1953年、大阪府堺市に生れる。花園大学院修士課程修了(仏教学)元近江聖人中江藤樹記念館館長を務める。現在、国際中江藤樹思想学会理事長。『中江藤樹のこぼれ』(登龍館)『中江藤樹人生百訓』『中江藤樹一日一語』(致知出版)『中江藤樹の生き方』『盤珪禅と儒教』(明徳出版)他著書多数。



やばきなおき
矢作直樹

1956年神奈川県生まれ。医学博士、東京大学名誉教授。元東京大学医学部附属病院救急部・集中治療部部長。2016年任期満了退任。2011年『人は死なない』を上梓、死後世界の存在を主張して18万部となり、以後出版活動をスタート。2014年『おかげさまで生きる』は30万部を突破。2016年(株)矢作直樹事務所を開業。『日本人のお役目』『天皇』など著書多数。



あさの ひとみ
浅野仁美

宮城県在住、東日本大震災では、はからず避難所のリーダーとして、避難者、学校、地域を考えながら避難所運営にあたった。ECO生活とキャリア作りが大好きな主婦であり、たまに毒を吐く?妻であり、世界一娘を愛する母。現在、避難所で出会った人々との縁で、各地で震災の体験を伝えている。震災により家は全壊、したが、現在は自宅を新築しに居住。

塾生の 塾生による 塾生のための塾

顧問 清水正博

代表 細川三郎

副代表 宮武清寛

同 中川千都子

総務部長 古田修平

事務局 宮本真弓